平成26年度公益財団法人富山県文化振興財団事業報告

〔公益目的事業〕

1　文化及び芸術を振興するための文化施設の貸与、芸術文化事業の展開及び美術館・博物館施設の運営

(1)　施設の管理運営（文化施設の貸与及び美術館・博物館施設の運営）

【県、魚津市及び南砺市から指定管理者の指定を受けている施設（10施設）】

（県民会館、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール、利賀芸術公園、立山博物館、近代美術館、水墨美術館、高志の国文学館）

【平成26年度の特記事項】

・県民会館の改修工事休館（平成26年3月1日から平成27年3月15日まで）

①施設の適正な管理運営

利用者の安全確保を最優先に、常に細心の注意を払って施設設備の維持管理に当たるとともに、自衛消防隊の消防訓練や救急救命講習の定期的実施、震災等を想定した緊急時対応マニュアルの改善・充実により、実効ある危機管理体制の確立に努めた。

また、快適で便利な施設環境を確保するため、空調管理や清掃等の適切な運営を徹底するとともに、県と連携しながら、施設設備の効果的な補修整備に努めた。

②利用の促進、利用者サービスの向上

利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズや満足度を随時把握し、サービスの向上に反映した。

また、文化ホール施設における利用料金割引制度の運用、美術館・博物館施設における効果的な広報の展開等を通じて、施設利用の促進に努めた。

さらに、北陸新幹線開業を見据え、各文化施設における観光・文化情報等の案内・発信の強化に努めた。

③県民会館改修工事及びリニューアルオープンに向けた対応

県と連携しながら、県民会館耐震化・機能充実等改修工事の安全で円滑な実施に努めるとともに、リニューアルオープンに向けて、施設の利用受付、開館準備作業等に当たった。

(2)　芸術文化事業の展開等

各施設の特徴や地域特性等を活かして、舞台公演や美術展など特色ある文化振興事業等を幅広く展開した。

①利賀芸術公園

世界の舞台芸術の拠点づくりを進めるため、世界的な舞台芸術集団「劇団ＳＣＯＴ（主宰：鈴木忠志氏）」と共同して、舞台芸術の創造･発信事業に取り組むとともに、国際交流、人材育成などの事業を実施した。

ア　劇場・音楽堂等の活性化事業

劇団ＳＣＯＴを中心とした優れた舞台芸術を創造・発信し、地域の文化芸術活動の活性化と舞台芸術の鑑賞機会の充実に努めた。

・SCOT サマー・シーズン 2014

・舞台芸術鑑賞会

イ　地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業

富山県と共同で、優れた舞台芸術作品を企画・制作して上演した。

・SCOT ウィンター・シーズン 2015

ウ　利賀舞台芸術創造・発信事業

7 ヵ国の演出家、俳優からなる「インターナショナルＳＣＯＴ（芸術監督：鈴木忠志氏）」による舞台芸術作品の制作や、地元中高生を対象にした演劇ワークショップを実施した。

エ　舞台芸術人材育成事業

優れた俳優、演出家らを養成することを目的とする「利賀演劇塾」、県内の高校生を対象にした「高校生夏期演劇講習会」、大学生を対象にした「利賀インター・ゼミ」を実施したほか、世界の舞台芸術の作品・訓練法の貴重な記録・資料の収集等の事業展開を支援した。

オ　シアター・オリンピックス北京関連企画「利賀アジア芸術祭」事業

「第６回シアター・オリンピックス（北京開催）」の関連企画としてアジアから優れた作品を招へいして上演した。

カ　利賀創造交流館における事業

「練習ホール」を活用し、舞台芸術の稽古や演劇公演を行った。また、利賀の自然や特色を活かした活動プログラムの充実やイベントの開催を通じて、年間を通じた一般利用の促進に努めた。

②文化ホール

文化活動への幅広い県民の参加を促すため、それぞれの地域の文化活動拠点施設として、各文化ホールにおいて多様な芸術文化事業を展開した。

特に、開館 40 周年を迎える教育文化会館、開館 20 周年を迎える新川文化ホールにおいて、それぞれの施設の特色に応じた大規模な記念事業（舞台公演）を実施したほか、県民会館のリニューアルオープンの記念事業も実施した。

ア　記念事業

〔教育文化会館〕40 周年記念　人形浄瑠璃 文楽公演、米村でんじろうｻｲｴﾝｽｼｮｰ

〔新川文化ﾎｰﾙ〕 20 周年記念　熊川哲也 Ｋバレエ・カンパニー公演

〔県民会館〕　ﾘﾆｭｰｱﾙｵｰﾌﾟﾝ記念　立川志の輔独演会、近代美術館所蔵作品展

イ　優れた文化を身近に鑑賞する機会の充実

(ｱ) 各文化ホールにおける舞台公演・美術展示

〔教育文化会館〕名古屋フィルハーモニー交響楽団公演、とやま映像祭など

〔県民小劇場〕　ｼﾞｬｽﾞ、落語、ｸﾗｼｯｸｳﾞｧｲｵﾘﾝ、ﾒｷｼｺ音楽、ﾁｪﾛ公演など

〔高岡文化ﾎｰﾙ〕　岩崎宏美ｺﾝｻｰﾄ、千住真理子ﾘｻｲﾀﾙ、邦楽地域活性化事業 邦楽ｺﾝｻｰﾄなど

〔新川文化ﾎｰﾙ〕　めざましｸﾗｼｯｸｽ、ﾐﾗｰｼﾞｭ寄席、布袋寅泰ｺﾝｻｰﾄ、近美ｺﾚｸｼｮﾝ展など

ウ　文化を通じた交流・文化活動への参加の拡大

(ｱ) ホール運営ボランティアの養成及び活動支援

県立文化ホールや市町村文化ホールの運営ボランティアの募集・養成を行うとともに、その活動を支援した。

(ｲ) 地元活動団体等の参加による各文化ホールでの舞台公演・作品展示等

〔教育文化会館〕日本舞踊公演、民謡公演

〔県民小劇場〕　演劇ワークショップと舞台制作公演

〔高岡文化ﾎｰﾙ〕　能楽鑑賞大会、文化教室発表会

〔新川文化ﾎｰﾙ〕　社会人吹奏楽、コーラス、マーチング公演、魚津市民文化祭など

ウ　次世代を担う子どもたち、青少年の文化活動の充実

(ｱ) 子ども芸術文化活動支援事業

県内の子どもが参画する芸術文化催事に対して、一定額の助成を行い、その活動を支援した。（年間5団体）

(ｲ) 学校コンサート（出前公演）

一流のアーティストを招へいし、県内各地域の小学校において無料のコンサートを開催した。（年間30校）

(ｳ) 各文化ホールにおける舞台公演、教室など

〔教育文化会館〕とやま青少年伝統芸能祭

〔高岡文化ﾎｰﾙ〕　邦楽地域活性化事業アウトリーチ

〔新川文化ﾎｰﾙ〕　小･中学生芸術鑑賞会

③近代美術館、水墨美術館、立山博物館及び高志の国文学館

県において企画・実施される企画展示に際し、県と一体となって円滑な運営に当たるとともに、近代美術館･水墨美術館･高志の国文学館におけるミュージアムコンサート、立山博物館におけるまんだら遊苑の夜間開苑等を独自に展開し、各施設の一層の利用促進に努めた。

〔近代美術館の企画展示〕永井一正 ﾎﾟｽﾀｰ･ﾗｲﾌ 1957-2014、成田亨-ｳﾙﾄﾗﾏﾝ創造の原点、藤森兼明展、北陸新幹線開通記念 世界･日本の20世紀美術など

〔水墨美術館の企画展示〕大谷記念美術館ｺﾚｸｼｮﾝ、上村松篁展、円山応挙と四条派展、王朝美の世界 源氏物語絵巻、横山大観展-富山を愛した巨匠など

〔立山博物館の企画展等〕　特別企画展「立山禅定名所案内」、特別企画展「近代の文人と立山」、布橋灌頂会開催記念展、山岳映像上映会など

〔高志の国文学館の企画展等〕藤子･Ｆ･不二雄の「ＳＦ」、風の盆 深奥の心をさぐる、富山の川の文学(前期･後期)、三禅定の旅、観桜の集いなど

④県民会館分館内山邸及び分館金岡邸

国登録有形文化財である「内山邸」及び「金岡邸」の歴史的な建築と趣のある庭園を活かし、それぞれ茶道や華道等の会場としての利用促進に努めた。

また、内山邸における夜桜観賞会や文人作品展、金岡邸における健康講演会や落語公演など、特色あるイベントの展開等を通じて、新たな観覧者の掘り起こしとリピーターの増加に努めた。

⑤県が推進する芸術文化催事の支援

県民芸術文化祭など県が推進する芸術文化催事に参画し、事業運営を支援した。

2　青少年の健全な育成を図るための青少年研修施設の運営

【県から指定管理者の指定を受けている施設：呉羽青少年自然の家】

⑴ 施設の適正な管理運営

利用者の安全確保を最優先に、常に細心の注意を払って施設設備の維持管理に当たるとともに、快適で便利な施設環境を確保するため、施設設備の効果的な補修整備に努めた。

⑵ 利用の促進、利用者サービスの向上

利用者アンケートの実施等により、利用者のニーズや満足度を随時把握し、サービスの向上に反映した。

また、野外活動プログラムの見直しや給食内容の充実など利用者サービスの向上に努めるとともに、親子を対象とした主催事業の展開などを通じて新たな利用者の掘り起こしを図り、施設の一層の利用促進に努めた。

3　郷土の文化的・歴史的遺産に関する学術の振興を図るための埋蔵文化財の調査研究

⑴ 国土交通省からの受託事業

・能越自動車道建設関連事業については、氷見市内で発掘調査を行うとともに、遺物整理業務を実施した。

・猪谷楡原道路建設関連事業については、富山市内で発掘調査を行うとともに、遺物整理業務を実施した。

・砺波東バイパス建設関連事業については、砺波市内で発掘調査を実施した。

⑵ 富山県からの受託事業

・都市計画道路能町庄川線建設関連事業については、遺物整理業務を実施した。

・主要地方道小杉婦中線建設関連事業については、富山市内で発掘調査を行うとともに、遺物整理業務を実施した。

・一般県道練合宮尾線建設関連事業については、遺物整理業務を実施した。

4　県民の心身の健全な発展を図るための富山県民生涯学習カレッジの運営

カレッジ本部に加え、広域学習圏の拠点である新川地区センター、富山地区センター、高岡地区センター及び砺波地区センターにおいて、夏季講座、ふるさと発見講座、ふるさと文化探究講座、高志の国文学入門講座・専門講座、自遊塾、教養講座などを開講したほか、新規講座として、ふるさと富山の魅力探究講座を実施し、年間を通して多様な生涯学習講座を展開した。

また、映像センター職員の撮影・編集による郷土学習教材の制作に取り組むとともに、ハイビジョン学習室を活用し、県ゆかりの文学関係作品や貴重な映像作品の上映会を開催するなど、映像による生涯学習の振興を目指した。

〔収益事業〕

1　文化施設及び青少年教育施設の貸与（公益目的の施設貸与以外のもの）

県民会館(分館内山邸･金岡邸を含む。)、教育文化会館、県民小劇場、高岡文化ホール、新川文化ホール及び呉羽青少年自然の家の指定管理者として、施設の広範な利用促進に努めた。

2　施設利用に係る物品販売、付帯サービスの提供

県民サービス・利用者サービスの一環として、文化ホール等の受付窓口におけるワンストップサービス（荷物の宅配やイベント実施に伴う花の手配、看板製作等)、催事チケットの販売、清涼飲料の販売、公衆電話の取扱い等を行った。

また、近代美術館及び高志の国文学館においてはミュージアムショップを運営し、グッズ販売を行った。

〔財団の運営に関する事項〕

1　業務運営の改善

施設管理や事務事業の一層の合理化を図り、簡素で効率的な業務執行に努めた。

2　経営基盤の強化

効率的な組織体制、財団版エコプランの推進、再委託業務の精査等により管理運営経費の節減を推し進め、財団の経営基盤の一層の強化に努めた。

3　次期指定管理者の指定獲得

次期指定管理者が公募された県民会館及び高志の国文学館について指定管理申請を行い、それぞれの指定管理者の指定を受けた。